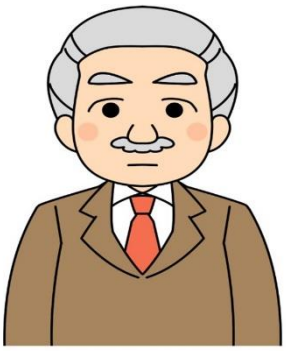
計画づくり

労働問題マンガ教材

ビジネスケーススタディ
紙芝居

建設会社



A部長

事業計画
経営計画

こちらは，A部長です。

A部長は、とある建設会社で、部下の管理・マネジメントをしています。

A部長は，もともと，生まれ育った地元地域にできることがしたいと思い、建設会社に入社し、２０年目になる社員さんでした。

このA部長、実は、困っていることがありました

『うーん、困ったなぁ。お付き合いさせてもらっている銀行さんから、事業計画、経営計画を見せてもらいたいって言われちゃったんだけど、昔から、計画をつくったりするのって、あんまり得意じゃないから、今まであんまりやってこなかったんだよなぁ』

『でも、やっぱり、銀行さんの立場からしたら、融資をする以上は、そういった事業計画とか経営計画っていうのを事前に確認するのが、大事なんだろうなぁ。

そういえば、政府の補助金を申請して、補助金をもらうときにも、こういった事業計画とか経営計画っていうのが、必要だって聞いたことがあるんだよな。

あとやっぱり、社員の仲間達にも、会社が今後、どんなことに取り組んでいくとか、どういう方向性に向かっていくとか、計画をみんなで共有することって、大事なんだろうなぁ』

『でもさ、そういえば、学生時代のときも、勉強の計画とかって、よく作ったけど、だいたい、計画通りにうまくいったことがなくて、計画通りにいかないから、落ち込んだりくよくよしたりしちゃうから、気が付いたら計画を作るのってなんとなく苦手意識があるんだよなぁ』

『そうだ、そういえば、先日、会社で社員研修を担当してくれた、研修講師のＢ先生に相談してみよう』

こちらが、研修講師のＢさんです。Ｂさんは Ａ部長の会社の社員研修を担当していました。

『どうも，Ａ部長，こんにちは。先日の研修もおつかれさまでした。
今日は，どういったご相談ですか？』

ここで、Ａ部長は、さきほどのお悩みをＢ講師に相談しました。

『Ｂ先生、私、どうしても、計画を作るっていうのが苦手意識がありまして。計画を作ってもなかなか計画通りにいかなくて、目標とかも達成できなくて、そうすると落ち込んでしまうので、なかなか、積極的になれないんですよね』

研修講師

Bさん

『なるほど、たしかに、そういったお悩みは、よくご相談のあるお悩みですね。この点は、いろいろな考え方があるところなので、一概には言えないところですね。あくまで一つの考え方ではあるのですが、一つ、私が思っているところを、お伝えしても良いですか？』

『はい、ぜひ、お願いします』

- **変化が激しい**
- **計画通りは難しい**

『たしかに、計画をつくったり、目標を設定したりしても、それがうまくいかないと、落ち込んでしまいがちですよね。そこで、色々な考え方があるところなのですが一つの考え方として、これだけ変化の激しい時代、何が起こるかわからない時代なので、計画通りにものごとが運ばなくても致し方ないとも言えるのではないかと思います。なにごとも計画通りというのは難しいと思います』

- **柔軟に考える**
- **修正してOK**

『そう考えると、計画を作るものの、柔軟に考えて、状況に合わせて、どんどん修正して OK という前提で、計画を作ってみるという方法もあるかもしれません。そう考えれば、状況に合わせて計画を修正して OK ということで、当初の計画通りに行かなくても修正すれば OK、落ち込まなくて OK と考えても良いのかもしれません』

- **目的**
- **誰が見るか**
- **誰と共有するか**

『もちろん、計画を作る目的や、どなたに見てもらったり、共有したりするかによって、そういった前提を事前にどう説明したり、ご理解いただくかにもよると思うのですが、まずは、少なくとも、まずは、純粋に、自分のため、自分の会社のためだけに使うのであれば、柔軟で OK という前提を共有して作るのはアリなのではないかと思います』

・まずは
ハードルを下げる
・徐々に
ステップアップ

メリット
・目標ができる
・モチベーション
・仲間と共有

落ち込む
デメリット
は回避

『そのうえで、まずは、なるべくハードルを下げて作ってみて、そこから、徐々にステップアップして内容を充実させたり、それをもとに、別途、会社外の第三者の方にも見てもらうための計画はまた別途、違う前提で作っていくというように、最初のハードルを低くすると、作りやすくなるかもしれないと思いました』

『このようにすると、次のようなメリットがあると思っています。
　つまり、最初は柔軟な計画を作るという考えなら、計画をつくるメリットである、目標ができるとか、目標を考えることでモチベーションが上がるとか、仲間と共有できるというメリットは受け取りつつ』

『デメリットである、達成できなかったときに落ち込む、というデメリットは回避できるのではないかと思います。
　まずは、脱完ぺき主義で、変化に合わせて柔軟にやってみるということで、最初のハードルを低くしてみると良いかもしれませんね』

『なるほど、それなら苦手意識も少なくなってくると思いました。ありがとうございます。がんばります』

＜参考＞

計画作りの際のよくあるお悩みをテーマにした物語をマンガ形式でお伝えしました。

様々な考え方があるところですので、一概に言えない面が多々ありますが、取り組むハードルを下げるための一つの考え方として、ご参考になりましたら幸いです。